

高度脳血管病センター のご案内



Sapporo Hakuyokai Hospital
Advanced CVD Center



■ ごあいさつ

医療は常に進歩し続けています。脳血管病の領域においても、その技術と機器の進歩は非常に目覚ましいものがあります。私たち高度脳血管病センターは、その最先鋒を歩み続けて更なる進歩を図りつつ、何事にも諦めることなく、質の高い治療を患者さんに提供し続けることを、自らの使命であると考えています。

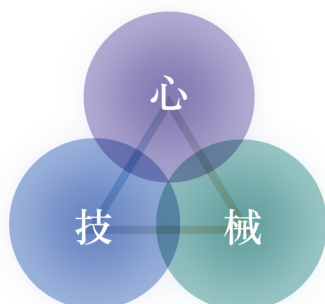
■ 心・技・械

平穏に変わりなく生活していたさなかに、突如として人生を脅かしかねない脳血管病の存在が発覚したときの、ご本人ご家族の不安は計り知れません。その「心」に寄り添いながら、親身になってその疾患の特性や治療法を懇切丁寧に説明し、お気持ちを尊重しながら納得のいく方針を導き出すことから血管病の治療は始まります。

そしていざ治療する段になったら、その多くは外科手術や血管内治療など直接手を施すものになりますが、これまで長年にわたり蓄積してきた経験と追及に基づいた「技術」を最大限に駆使して、一切の妥協や誤魔化しの無い、確実で且つ安全な治療を常に心がけています。



副院長・専務理事
高度脳血管病センター センター長
中山 若樹



技術だけではありません。道具はもちろん、ITやAIを利用した術前シミュレーションや術中の様々な映像法や安全を守るモニタリングなど、あらゆる先端テクノロジーすなわち「機器」を用いて、最先端の治療を実現することができます。

これらの心と技術と機器（機械）の融和は、武道などで重んじられる「心・技・体」に準じた、「心・技・械」の精神であります。この3つを柱に、病気が見つかったかたの明るい未来を切り開く一役を担うこと、それが私たちの本望です。



■ 高度脳血管病センターのロゴマーク

直線と曲線で構成される対称的な二つのモチーフは、様々な事象を表しています。そのひとつが、脳血管外科の顕微鏡下手術で用いられるマイクロ鉗の刃です。非常に小さく薄い2枚の刃が繊細にゆっくりと擦り合わせられる動き、その挟まれた一点から、次の鮮やかな展開が生まれていく様を表しています。



Sapporo Hakuyokai Hospital
Advanced CVD Center

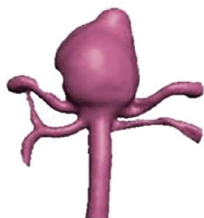
そして何よりも、この二つのモチーフに込めた最も重要な意味は、患者さんの命です。細い先端が接するように向き合い、右肩上がりに連なるこの配列は、患者さんの命を、細い先端の一点で繋げる（＝手術をする）ことによって、希望が生まれ、新たな未来が開かれていく様を表現しています。

一方で、これを単一の物体とみなせば、その輪郭は、凛とした直線と緩やかに波を描く曲線とが折り重なった形になっています。力強さと繊細さの融合、ゆるぎない信念と優しさの融合、それはまさに、私たちが目指す医療の姿そのものです。

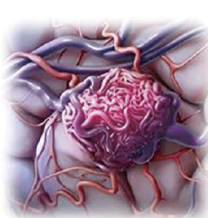
■ 対象となる疾患

- 脳動脈瘤
- 脳動静脈奇形
- 脳動脈閉塞症・もやもや病
- 頸動脈狭窄症

脳動脈瘤



脳動静脈奇形



脳動脈閉塞症・
もやもや病



頸動脈狭窄症



■ 診察日

月曜日 午前・午後 完全予約制

※紹介状が無くても、脳血管病の存在を指摘されている方は、画像検査を行った上、診察させていただきます。



お問い合わせ先

社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院 患者支援センター

TEL.011-598-1777 FAX.011-598-1208

【受付時間】平日 / 9:00～17:00 ※土・日・祝・年末年始(12月30日～1月3日)除く

メールフォームから

ホームページ内のメールフォームにてお申し込みいただけます。

患者支援センターの担当者より、お申し込み順もしくは緊急性に応じて順次、折り返しお返事をさせていただきます。